

令和7年2月1日



園長 中川 宏美

# みらいだより

暦のうえでは立春・節分を迎えますが、一年で最も寒い時期でもあります。子どもたちは、「ひいらぎさがしにいこう」「イワシをかいにいくんよね」「おに、つくりたい」「かたいまめつくっておにになげるんだ」と節分会の準備をしています。「鬼はそと、福はうち」子どもの気持ちを盛り上げていきたいものです。

2月			行事予定
月	日	曜	
2	1	土	・保護者交流会(どんぐり) リズムあそび ・お弁当の日
	3	月	・節分会 ・「LaQ 博士がやってくる！」 (ひかり)
	4	火	リズム会リハーサル(たけのこ りす・うさぎ・そら・ひかり)
	5	水	医療秘書こども専門学校 「キラとピカ保育発表会」 アステールプラザ (そら・ひかり)
	15	土	・リズム会(たけのこ・りす・うさ ぎ・そら・ひかり) ・お弁当の日
	17	月	身体測定(どんぐり・ひかり)
	18	火	身体測定(たけのこ・そら)
	19	水	身体測定(りす・うさぎ)

※変更の場合あり

## 乳幼児期に育つ「非認知能力」育もう

ノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・J・ヘックマン教授らのアメリカの研究「ペリー就学前プロジェクト」と言われる研究調査で乳幼児期に**非認知能力**を育むことが成長後の心の健全さや幸福感を高め社会的・経済的効果を高めると考えられる。

子どもの未来に必要な能力は、**文字・数など認知能力**の前に、**失敗から学ぶこと、人と協力できる、自分で考える、違う価値観を柔軟に受け止める、新しい発想ができる**…そんな力です。**非認知能力**と呼ばれ、世界中で注目されています。この能力は、およそ5歳ごろに原型が完成するようです。乳幼児期は、この脳を委縮させず安定して発達させる大事な時期です。「**認知能力**を高めるには、まず**非認知能力**から」です。

※乳幼児期に教科学習の先取りを行って高いIQを得たとしてもそれは短期的なもので、その数年後には、早期教育を受けなかった子に追いつかれることが多いことも明らかになる。つまり、乳児期に獲得できる**非認知能力**を獲得した子が将来の成功につながる**重要な能力**だということがわかったのです。

東京大学 汐見掇幸名誉教授

## 食育「みんなで食べると美味しいんです」

“食べる力”は“生きる力”、という考えのもと、食育に力を入れています。

できるだけ地産地消にこだわっています。化学調味料は一切使わず、毎朝かつおや昆布、いりこ、干しいたけなどで出汁をとっています。砂糖はきび砂糖を使用しています。

保育活動の中でも、キャベツをちぎったり、カボチャの種を取ったり、玉ねぎやとうもろこしの皮むきをするなど、旬の食材に触れながら「食」への興味関心を育てています。

好き嫌いをなくそうとするのではなく友だちや保育者と一緒に食べることは、幸せで楽しいを感じて欲しいと思います。



どんぐり組(0歳児)：「あっ！」

「あっ！」階段をあがって近づいてみます。「はっば！」木の枝をもって「れ！」葉っぱ、木の枝、石などの自然物に興味を持って拾ったり、じっと観察したりしています。遊びの中で様々なものに触れ形、色、手触りなどに気づき、感覚の働きを豊かにしています。



たけのこ組(1歳児)：「いってきま〜す」

「いってきま〜す」「よーいどん」「がしゃん」「しゅっしゅっ」とコンテナや段ボールを電車にみたくて遊んでいます。友だちのコンテナや箱の後ろに連結します。「いってきま〜す」「ばいば〜い」友だちと一緒に楽しむ経験を積み重ねることでコミュニケーションを学んでいます。

りす組(2歳児)：「くっついた？」

雪を触ると「こころしいよ〜」「ゆびしろい」足でも踏んでみます。「ついた?」「ついてる。しろい」友だちと指や靴の裏を確認しながら雪を探していろいろ試してみます。「ゆきついた」冬ならではの自然環境に親しみ、触れ合う中で様々なものに興味や関心を持っています。



うさぎ組(3歳児)：「はつもうで」

「かみさまいくぞ〜」「こっちからいけるかな〜」「むり〜」「だいじょうぶ?つかまって」友だちと協力します。「かみさまこっちじゃない」「かみさまこっちかな?」急斜面に挑戦しながら、神社を目指します。「かみさまあったよ」「ことしもよろしくおねがいます」

そら組(4歳児)：「かげがいいんじゃない？」

雪が降ると「山が白かった」「くるまに雪が積もっていたよ」雪に興味関心を持っていました。容器に「水入れよう」「ここに置こう」溶けかかった雪を持ってきて「これもやってみたい」「こおりができるか実験したい」「かげならいいんじゃない?」「こおるといいね」水をどこに置くとこおるのか試行錯誤していました。



ひかり組(5歳児)「ゆきふわふわじゃね〜」

「ゆきすごいね」「ゆきがっせんしよう」「そりもやりたい」辺り一面真っ白な銀世界を目の前に意欲が高まります。「ゆき、つまみたい〜」「ゆきたべてみよ」「ここのゆき、ふわふわよ」「くちにゆきついた・・・」雪に触れる体験を通して興味関心を深め、雪の性質を探究しています。